

連勝街道を驀進中の脇本雄太

向日町競輪場開設72周年記念「平安賞」は、9月24日〜27日の日程で開催される。今シリーズは古性優作、清水裕友、宿口陽一のSS班3名が参戦するが、主役を務めるのは輪界トップの豪脚を誇る脇本雄太だ。目下のところ20連勝していて、S級の連勝記録を更新し続けている。脇本が更に連勝記録を伸ばすのか、それとも待ったをかける選手が現れるのか。興味津々の4日間だ。

世界選手権(20年・ドイツ)のケイリンで、銀メダルを獲得した実績がある脇本雄太。世界の舞台で大活躍したスピードはさすがに違う。今年はダービー、オールスターを含み9Vを達成していて、勝率は驚異の84・7%を誇っている。しかも5月福井の準決から負け知らずで、8月



脇本雄太

杯でVをゲット。G1の4大会の準決はオール1着を取っている。ダービーの準決では脇本の逃げを差した実績もある。展開開次第では逆転もあるか。機動力高い岡崎智哉、レース巧者の稲川翔、地元の意地を見せた稲垣裕之、高久保雄介は近畿連係から上位進出を目指す。

今年はいよいよウィナーズカップで昨年に続き連覇を飾った清水裕友ながら、その後は成績に波があり、大きな数字も目に付く。9月青森記念をはじめ随所でらしさを披露しているものの、コンスタントに力を発揮できていない印象だ。脇本と個の力では分の悪さは否定できないので、中四国スジの石原颯との連係を叶えたいところ。石原は相変わらず積極的で、直近4カ月の連がらみはすべて先行してのもの。オールスターの一次予選2は松浦悠に差されたものの2着に粘っていて、主導権を握ると強じんな粘りを発揮する。脇本をどこまで苦しめるか注目される。



清水裕友

のまくりを差して1着、オールスターの最終日特別優秀では、菊池岳の逃げに乗り深谷知、清水らに勝っていて、好展開が巡ってきた時はものにしていく。関東ラインをけん引するのは吉田有希だ。オールスター①③④⑤②着では二次予選で上位進出の権利を逸したものの、連日積極的に駆けて先行力を猛アピールしている。ここは脇本が相手だけに、多少早めからでも主導権奪取に全力投球の構えだろう。坂井洋も強力な自力型。早い仕掛けは少ないものの、スピードは一級品で、サマーナイトでは②⑧①着と2連対を果たしている。吉田の動きに乗れるようだ。チャンスもあるか。

今年も年頭から素晴らしい伸びを披露している成田和也。全日本選抜、ウィナーズカップ、高松宮記念杯、オールスターで決勝に乗っていて、ビッグレースで大活躍。直近4カ月の3連対率は8割を上回っている。ここは北日本勢の自力型が手薄なので、動向には注目しておきたい。鈴木裕、小原太樹ら南関東勢は根田空史のデキ次第か。



開設72周年記念【GIII】

平安賞

KYOTO KEIRIN 72th Anniversary HEIANSHOW

2022 9/24(土) 25(日) 26(月) 27(火) 京都向日町競輪 KYOTO KEIRIN



古性優作

「平安賞」 出場予定選手

※2022年9月13日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点							
SS	宿口陽一	埼玉	91期	112.54	S1	根田空史	千葉	94期	107.14	S2	近藤誠二	香川	80期	92.14	S2	小林弘和	佐賀	91期	97.84	S2	横山尚則	茨城	100期	108.46		
SS	古性優作	大阪	100期	121.06	S1	脇本雄太	福井	94期	118.61	S2	大矢将大	埼玉	81期	94.08	S2	山田義彦	埼玉	92期	97.71	S2	富尾享平	大阪	101期	93.33		
SS	清水裕友	山口	105期	112.83	S1	武藤篤弘	埼玉	95期	102.07	S2	松崎貴久	富山	82期	100.89	S2	藤田英彦	千葉	93期	101.29	S2	月森亮輔	岡山	101期	104.17		
S1	金子真也	群馬	69期	0.00	S1	小原太樹	神奈川	95期	110.65	S2	藤田昌宏	岡山	82期	102.96	S2	三谷政史	奈良	93期	96.92	S2	小酒大勇	福島	103期	97.03		
S1	村上義弘	京都	73期	105.50	S1	河端朋之	岡山	95期	104.58	S2	工藤政志	青森	84期	96.23	S2	坂田章	高知	93期	95.40	S2	奥原亨	神奈川	103期	93.50		
S1	伏見俊昭	福島	75期	104.33	S1	岡崎智哉	大阪	96期	108.56	S2	西岡正一	和歌山	84期	98.05	S2	佐藤一伸	福島	94期	107.30	S2	中井俊亮	奈良	103期	104.52		
S1	堤洋	徳島	75期	104.71	S1	山下一輝	山口	96期	109.96	S2	真崎新太郎	栃木	85期	99.52	S2	上原龍	長野	95期	98.36	S2	石口慶多	兵庫	103期	94.92		
S1	中村浩士	千葉	79期	104.50	S1	久木原洋	埼玉	97期	108.57	S2	原真司	岐阜	86期	97.29	S2	北野良栄	愛知	95期	94.82	S2	畑段嵐士	京都	105期	102.57		
S1	佐々木則幸	高知	79期	104.00	S1	高久保雄介	京都	100期	108.90	S2	中村一将	兵庫	86期	97.39	S2	二藤元太	静岡	95期	98.66	S2	川越勇星	神奈川	111期	100.25		
S1	竹内智彦	宮城	84期	104.29	S1	窓場千加頼	京都	100期	103.56	S2	中村圭志	熊本	86期	105.19	S2	白上翔	滋賀	95期	94.50	S2	望月一成	静岡	111期	96.22		
S1	吉田敏洋	愛知	85期	105.28	S1	近藤龍徳	愛知	101期	101.34	S2	山田和巧	神奈川	87期	90.77	S2	小川祐司	愛媛	96期	95.83	S2	中野雄喜	京都	111期	97.04		
S1	筒井敦史	岡山	85期	106.35	S1	林大悟	福岡	109期	102.67	S2	大屋健司	広島	87期	95.17	S2	松尾透	福岡	96期	100.03	S2	太田将成	宮城	113期	92.84		
S1	稲垣裕之	京都	86期	107.62	S1	坂井洋	栃木	115期	109.86	S2	河野通孝	茨城	88期	104.79	S2	小島歩	神奈川	97期	97.62	S2	中嶋宣成	長野	113期	98.23		
S1	佐藤友和	岩手	88期	108.16	S1	石原颯	香川	117期	110.00	S2	小笠正義	千葉	88期	101.86	S2	高市訓但	愛媛	97期	99.40	S2	小林稜武	千葉	113期	98.00		
S1	成田和也	福島	88期	115.79	S2	中澤央治	大阪	59期	97.63	S2	石塚孝幸	神奈川	89期	103.00	S2	田中陽平	熊本	97期	96.58	S2	内山雅貴	静岡	113期	103.23		
S1	山崎芳仁	福島	88期	107.35	S2	室井竜二	徳島	65期	99.63	S2	大塚玲	神奈川	89期	101.54	S2	山田裕哉	岐阜	98期	101.75	S2	張野幸聖	和歌山	115期	96.27		
S1	稲川翔	大阪	90期	109.56	S2	阪本正和	長崎	70期	98.67	S2	鈴木謙太郎	茨城	90期	94.38	S2	小玉拓真	岡山	98期	98.32	S2	鈴木玄人	東京	117期	97.21		
S1	山中貴雄	高知	90期	103.72	S2	小嶋敬二	石川	74期	98.13	S2	中川貴徳	栃木	91期	100.56	S2	掛水泰範	高知	98期	96.75	S2	橋本優己	岐阜	117期	107.85		
S1	小川勇介	福岡	90期	109.50	S2	小笠原昭太	青森	76期	95.87	S2	石川雅望	群馬	91期	100.91	S2	泉慶輔	宮城	99期	99.86	S2	青柳靖起	佐賀	117期	102.31		
S1	佐藤幸治	長崎	92期	103.43	S2	八谷誠賢	福岡	77期	97.30	S2	柿沼信也	埼玉	91期	97.60	S2	今藤康裕	岐阜	99期	95.75	S2	吉田有希	茨城	119期	111.50		
S1	木暮安由	群馬	92期	112.00	S2	北野武史	石川	78期	99.67	S2	内田英介	東京	91期	100.14	S2	本郷雄三	熊本	99期	95.77							
S1	鈴木裕	千葉	92期	112.50	S2	吉永好宏	広島	80期	99.56	S2	大川龍二	広島	91期	104.05	S2	木村弘	青森	100期	103.62							

橋本 優己 (岐阜/117期)

G1初参戦のオールスターでは、4走目に一般戦ながら上がり11秒フラの快速まくりを決めて初勝利を挙げた。自力攻撃の破壊力には一段と磨きがかかった感があり、上位進出が期待できる。



横山 尚則 (茨城/100期)

以前ほど自力は出していないものの、差し脚の伸びは申し分ない。7月弥彦記念で1②①⑦着と決勝に乗ると、8月川崎2①①①着、同月青森1①③着と連対ラッシュだ。好位置占めると怖い。



山下一輝 (山口/96期)

ダービー⑤①③②着、オールスター⑤②⑧②③着と、いずれも3回の確定板入りを果たしていて、地力強化を感じさせる近況だ。差し脚の威力が増しているのので、突っ込みには注意したい。

地元地区推奨選手

俺の出番だ!!



畑段 嵐士

(京都/105期)

最近はや選での連がらみがなく、一息不足の場所が続いているが、地元の当所では奮戦している。1月2②⑦着、4月1②③着、8月51②着と連がらみが多く、地元3割増しで狙う手か。

中野 雄喜

(京都/111期)

今年は2年ぶりにS級にカムバックを果たした。8月末までの勝ち星は5勝にとどまっていますが、苦戦を強いられているものの、積極的な競走に変わりはない。同格戦は好勝負が見込める。



「平安賞」 出場予定選手

※2022年9月13日時点

選手名	所属	身長	年齢	登録	最近4ヶ月	直近12場所	総合評価
稲川 翔	イナカワ ショウ	171cm	69	籍400	S1 S1 S1	109.56 112.03 108.90	87 13
坂井 洋	坂井 宇都宮	171cm	72	籍500	S1 S1 S1	109.86 110.32 109.40	89 9
石原 颯	イシハラ ハヤテ	170cm	83	籍400	S1 S1 S2	110.00 110.41 109.15	87 9
吉田 有希	吉田 ユウキ	168cm	86	籍400	S2 S2 S2	111.50 109.15 112.92	88 5
成田 和也	ナリタ カズヤ	172cm	73	籍333	S1 S1 S1	115.79 115.20 114.88	93 10
宿口 陽一	ヤドグチ ヨウイチ	168cm	72	籍400	SS SS S1	112.54 111.92 112.12	90 10
清水 裕友	シメズ ヒロト	166cm	78	籍333	SS SS SS	112.83 113.61 113.81	91 8
脇本 雄太	ワキモト ユウタ	181cm	85	籍CSC	S1 S1 S2	118.61 116.74 120.09	95 2
古性 優作	コシヨウ ユウサク	168cm	77	籍CSC	SS SS S1	121.06 118.42 119.27	95 5